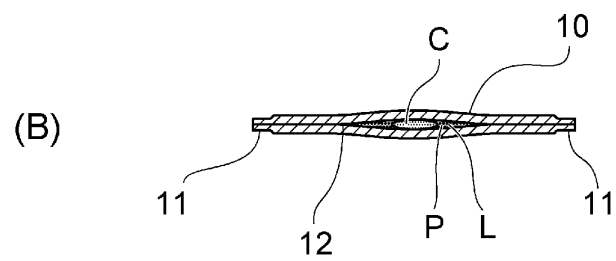
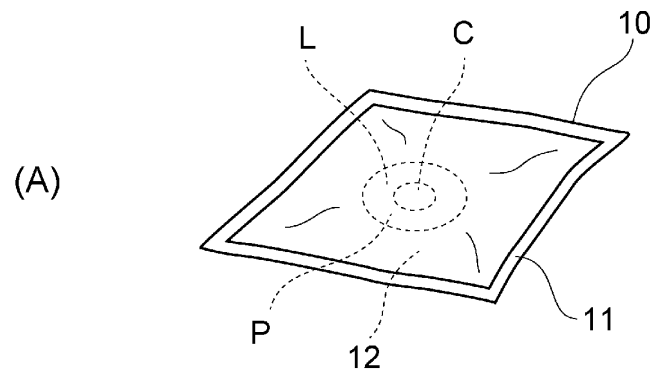
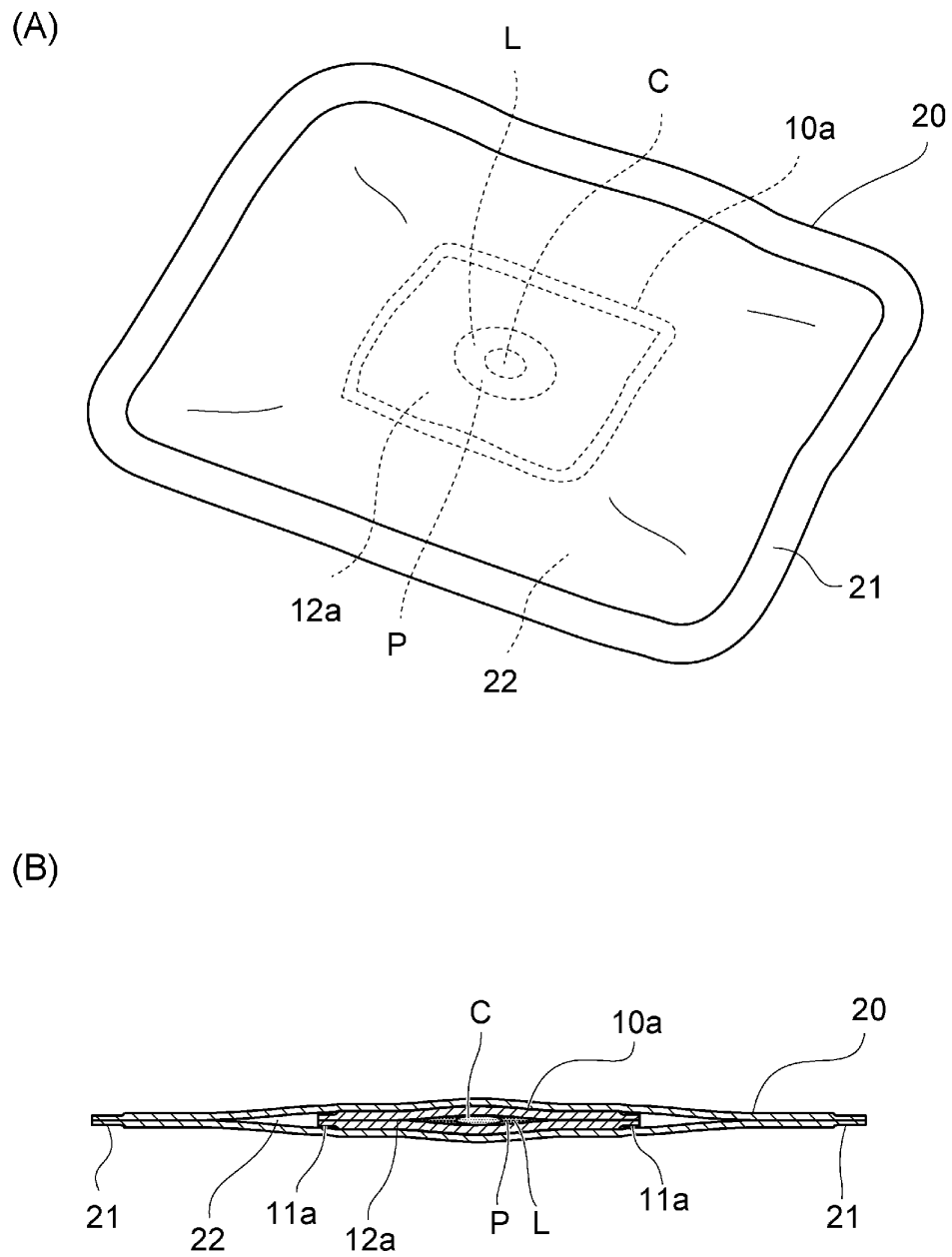


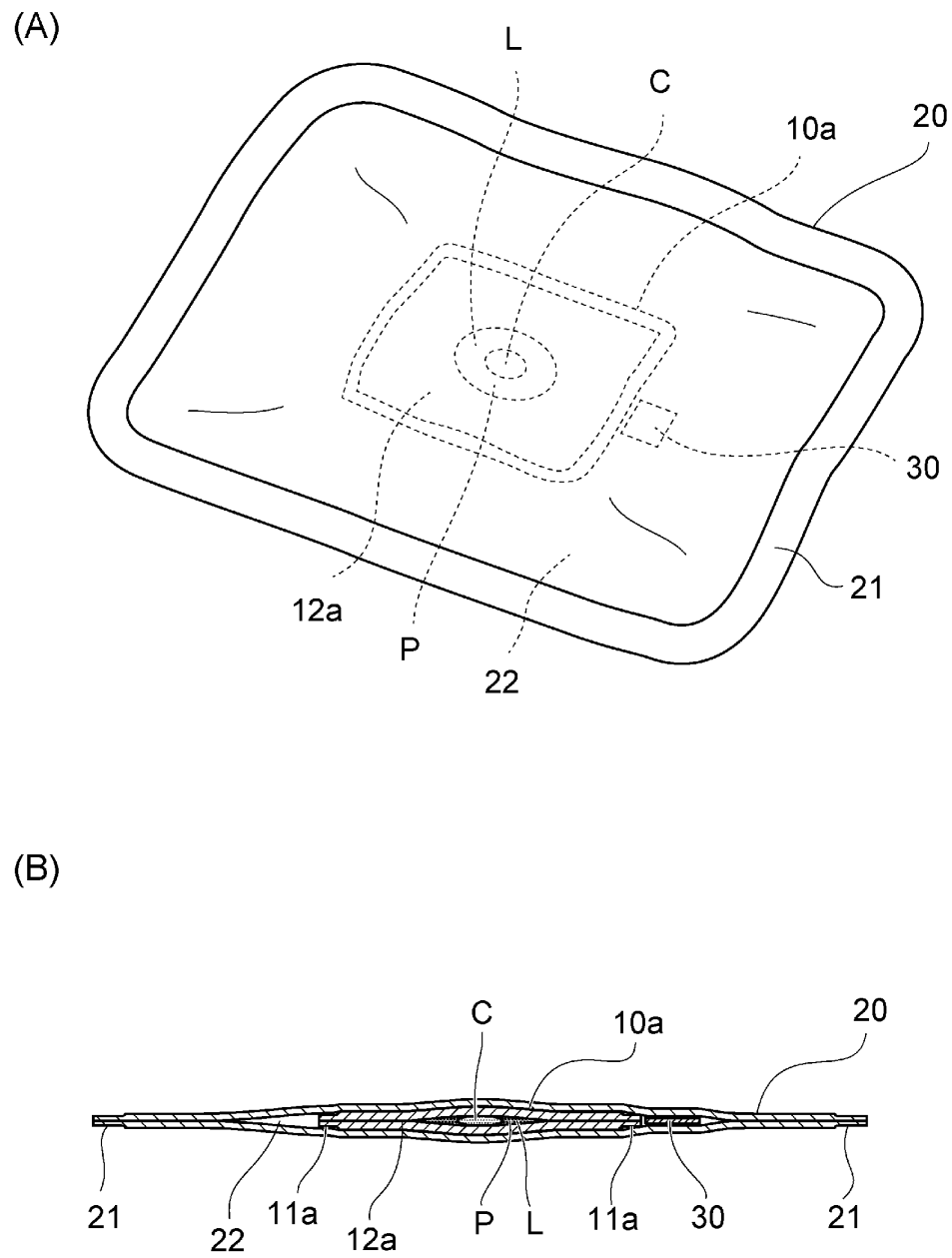
[図1]



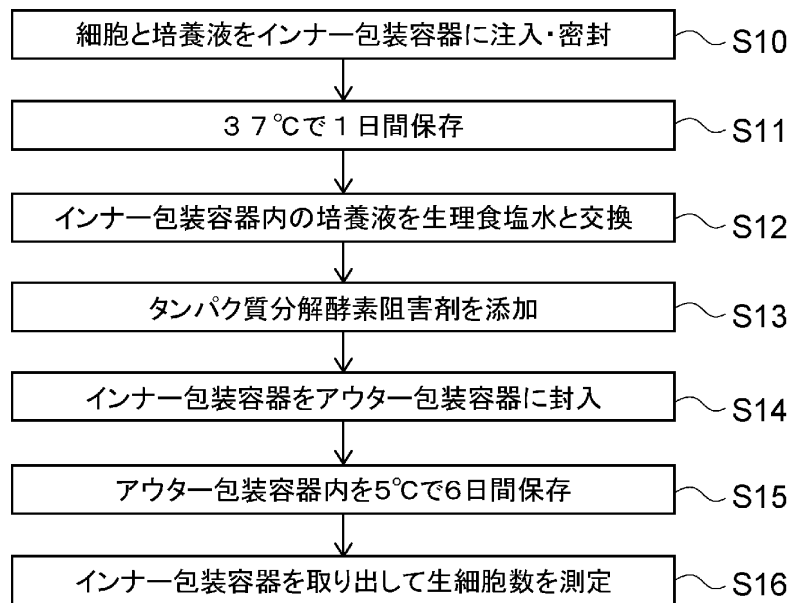
[図2]



[図3]



[図4]



[図5]

サンプル	タンパク質分解酵素 阻害剤の添加	低酸素化手法	容器間空間における濃度(%)		生細胞数 (万個／バッグ)
			O ₂	CO ₂	
比較例1	無し	無し	21	0.3	2.1
参考例1		二酸化炭素発生剤の封入	6～12	5～8	5.2
参考例2		脱酸素剤の封入	<0.1	0.4	21
実施例1	有り	無し	21	0.3	17
実施例2		二酸化炭素発生剤の封入	6～12	5～8	40
実施例3		脱酸素剤の封入	<0.1	0.4	30